

第4節 音風景,かおり風景

1 音風景

(1) 残したい“日本の音風景100選”

環境庁（現環境省）では、平成8年6月に、全国各地で人々が地域のシンボルとして大切に、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境（音風景）を「残したい“日本の音風景100選”」として認定しており、県内からは、表2.4.1のとおり、3件が選定されています。

表2.4.1 県内における「残したい“日本の音風景100選”」選定地点の概要

名称	市町村名	概要
称名滝	立山町	滝の音が「南無阿弥陀仏…」と称名念仏を唱えているように聞こえたということから、この名がつけられた。霊峰立山の水を集め、350メートルの高さから一気に流れ落ちる。
エンナカの水音とおわら風の盆	八尾町	八尾の町の坂道に沿って流れる水路をエンナカと呼び、耳を澄ますと心地良い音がする。その水音が、9月の「おわら風の盆」の時には聞こえなくなる。民謡「おわら」が三味線、胡弓などの音色にあわせて流れ、坂の多い街の路地裏に響く。
井波の木彫りの音	井波町 (現南砺市)	井波は信仰と木彫りの里。朝の5時、瑞泉寺の鐘が響きわたる頃から、町のあちこちで「トントン」、「コツコツ」と木槌を打つ音、ノミで木を刻む音が聞こえてくる。その音と木の香りのある景観づくりに取り組んでいる。

(2) とやまの音風景

県では、平成10年2月に、県内のすぐれた音環境を将来に残すため、50地点を「とやまの音風景」として認定しており、その一覧は表2.4.2のとおりです。

表2.4.2 とやまの音風景認定一覧

	市町村名	名称
富山市	(富山市)	全日本チンドンコンクール/田尻池の白鳥/時の記念日のドン
	(大山町)	尼僧の托鉢修業の錫
	(大沢野町)	神通峡野仏の里を吹く風
	(八尾町)	越中和紙の紙すき/エンナカの水音とおわら風の盆*
	(婦中町)	熊野神社の稚児舞
	(山田村)	赤トンボ広場の虫の声
	(細入村/大沢野町)	ダム湖にこだまするオアズマン**の掛け声
高岡市	(高岡市)	高岡古城公園の野鳥と虫の声/高岡御車山祭/二上山の平和の鐘
	(福岡町)	矢部ではねる鯉
魚津市		たてもんとせりこみ蝶六の魚津祭り
氷見市		網おこしの漁師歌とウミネコ
氷見市/高岡市		松田江浜と雨晴海岸の波音
滑川市		行田公園の野鳥とせせらぎ
黒部市		七夕流しで聞こえる笛、太鼓/生地共同洗い場
砺波市	(砺波市)	子供歌舞伎
	(庄川町)	挽物木地の木を削る音

市町村名		名 称
小矢部市		宮島峡の滝とせせらぎ
南砺市	(城端町)	からくり水車とむぎや踊り／曳山祭と庵唄
	(平村)	山並みに響くこきりこ祭り
	(上平村)	菅沼合掌集落の虫の声と庄川のせせらぎ
	(利賀村)	初午の子供たちの雪を踏む音
	(井波町)	不動滝と不動滝の霊水／井波の木彫りの音*
	(井口村)	赤祖父原生林と椿の園のせせらぎ
	(福野町)	夜高祭
射水市	(福光町)	ねつおくり太鼓
	(新湊市)	曳山祭りと獅子舞の囃子／万葉線電車／魚市場のせりの声
	(小杉町)	ため池から飛び立つ鴨
	(大門町)	凧を揚げる掛け声とうなり／匠の里の焼き物の冷える音
	(下村)	加茂神社のやんさんまと稚児舞
(大島町)	絵本館の水琴窟とジャンピングウォーター	
舟橋村		ばんどり太鼓
上市町		大岩山日石寺の瀧と寒修行
立山町		立山の雷鳥と美女平の野鳥のコーラス／称名滝*
宇奈月町		宇奈月温泉街のげたの響きと温泉噴水／黒部川の清流とトロッコ電車
入善町		墓ノ木自然公園の野鳥と黒部川の水音
朝日町		蛭谷のバタバタ茶／ヒスイ海岸の渚で聞こえる波音

注1 *は、環境省の「残したい“日本の音風景100選”」にも選定されている。

2 市町村名は17年11月1日における行政区分によるものである。()は旧市町村名である。

3 ※はボートのこぎ手のことである。

2 かおり風景100選

環境省では、平成13年10月に、地域の自然・文化・生活に根ざした良好なかおりのある風景100地点を「かおり風景100選」として選定しており、県内からは、表2.4.3のとおり、北陸で最多の3件が選定されています。

表2.4.3 県内における「かおり風景100選」選定地点の概要

名 称	市 町 名	概 要
富山の和漢薬のかおり	富山市*	和漢薬の調剤等によるにおいが、市内の多くの場所で感じられる。
砺波平野のチューリップ	砺波市	53ヘクタールの規模にわたり、チューリップの開花期には一面花のじゅうたんが広がる。昭和27年からチューリップフェアを開催しており、行政、市民、企業等が一体となって取り組んでいる。
黒部峡谷の原生林	宇奈月町	日本最大級のV字谷である黒部峡谷一帯では、カエデ(町木)類、イワウチワ(町花)、ブナ、ナラなどの豊かな緑のかおりに恵まれ、黒部峡谷鉄道のトロッコ電車で堪能することができる。

注 *は現富山市です。(17年11月1日における行政区分による。)